

# ゲノム解析の土台作りと

# *Helicobacter pylori*への応用

演者：Kirill Kryukov 先生

国立遺伝学研究所生命ネットワーク研究室 特命准教授

鈴木 留美子 先生

国立遺伝学研究所ゲノム・進化研究系 特任准教授

2023年2月20日（月）6:00PM-7:00PM

ハイブリッド開催

テレカンファレンスルーム（臨床研究棟 2F）

オンライン（Zoom）

対象：教育職員、医学系大学院生、研究者等

事前参加登録

<https://forms.gle/Sf4n1EjLxQJBFCE89>



次世代シーケンサーの発展に伴ってゲノムデータも増え、現在では週に数百種というペースでゲノムデータがリリースされている。このように急速に蓄積するゲノムデータを、最新の状態で把握するのは容易ではない。また、大容量のデータをどのように効率よく保存するかも問題である。

セミナー前半ではKryukov特命准教授が、独自に開発したゲノムデータベース GenomeSyncと、データ圧縮技術NAFという、ゲノム解析の土台となる技術を紹介する（英語での講演）。

後半では*Helicobacter pylori*研究への応用として、Kryukov特命准教授がデータベースに蓄積したゲノムデータを元に作成した大規模系統樹を鈴木特任准教授が紹介し、系統樹上の枝のまとめ（クラスター）と菌のタイプとの関係を考察する。また、*Helicobacter pylori*はDNA組み替えが頻繁に起こるため、逆位や転座など大規模なゲノム構造変化が多いことが知られている。このようなゲノム構造変化と、菌の地域性・病原性との関連を探る（日本語での講演）。

世話人 山岡 吉生（グローバル感染症研究センター 副センター長）

セミナー問合せ先

大分大学グローバル感染症研究センター総務係

TEL 097 (586) 5409 E-mail [glocal@oita-u.ac.jp](mailto:glocal@oita-u.ac.jp)

The seminar will be held in English and Japanese.